

理数科設置 50 年にあたる本年度の研究発表大会は、岡山大学で2日間にかけて開催されました。西日本の各県を代表する高校から、ステージ発表には16チーム、ポスター発表には57チームが参加し、物理・化学・生物・地学・数学分野に関する研究成果を披露しました。

益田高校からは、3年生の寺戸海璃さんと毛利一葉さんが参加し、小田文さんとともに研究した「導電性フィルムを使った色素増感型太陽電池の作成」について、ポスター発表を行いました。

ブースを訪れた高校生や教員に対して、発電の仕組みをわかりやすく紹介し、発電効率を高める改良策について説明しました。また、作製した100個以上の電池のうち一部を展示し、見学者が、見て、触れて理解できるようにしました。1時間半あまりの間にたくさんの質問が寄せられましたが、その一つひとつに丁寧に回答することができました。審査の結果、優良賞を頂きました。

自チームの発表を終えた後、他チームの発表を見学しました。興味をもった内容について質問したり、研究の優れている点をカードに記入して手渡したりしました。同じ高校生であり、研究の大変さややりがいを分かり合えるからでしょうか、活発に意見を交わす姿が見られました。

来年度の大会は、8月16日～17日の日程で佐賀県にて開催されます。2年生のみなさんは、これから本格的に研究に取り組むこととなりますね。出場を目指し、頑張ってください。

